

世界農業遺産と日本農業遺産

2023年5月には日本でG7広島サミットが開催されます。それに伴い、宮崎ではG7農業大臣会合が開催されることになりました。宮崎には世界農業遺産と日本農業遺産に登録されている地域が3カ所あります。今月はその3カ所をご紹介します。

○ 世界農業遺産：高千穂郷・椎葉山地域



高千穂郷・椎葉山地域は、森林に囲まれ平地が極めて少ない地域です。そこでは、木材やシイタケ、和牛、茶、稲作等を組み合わせて、農業と林業が複合的に営まれています。その営みにより、森林や農地に生息する希少動植物の保全や山々の斜面を覆う棚田などの美しい景観、五穀豊穰を願う神楽などの伝統文化も大切にされています。こうした人々の暮らしが、世界的に高く評価され、次世代に引き継がれるべき農業システムとして、2015年に世界農業遺産に認定されました。

○ 日本農業遺産：田野・清武地域

田野・清武地域の農業は、温暖湿潤な気候を活かし、農業と畜産業の連携による土づくりが行われています。そして、年間を通した作付けと「干し野菜」の伝統技術を組み合わせた畑作が進められています。こうした独自の農業システムが、2021年2月に伝統的で重要な農林水産業として、国内の畑作地域で初めて「日本農業遺産」に認定されました。



○ 日本農業遺産：「造船材を産出した^{おび}飫肥林業と結びつく『日南かつお一本釣り漁業』」

日南市近海には黒潮が流れています。市域の森林の7割が飫肥（おび）杉の人工林です。日南ではかつて、飫肥杉が造船材として使われていました。日南のかつお一本釣り漁業は、江戸時代から続く伝統漁業で、釣っても群れ全体を釣りつくさないためかつお資源にやさしく、世界が目指す「SDGs」の理念にも通じています。飫肥杉の森と豊かな山々、川、海と繋がる日南かつお一本釣り漁業は、この地域の価値ある宝として2021年2月に「日本農業遺産」に認定されました。



どの地域も農業と林業、畜産業、漁業とが深く結びつき新たな価値や文化を生み出している、その点が農業遺産認定に繋がっているようです。

このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望がありましたら宮崎県国際交流協会までご連絡

ください。TEL：0985-32-8457 FAX：0985-32-8512 Email：miyainfo@mif.or.jp
毎日の生活に関してご質問、ご心配事などありましたら、みやざき外国人サポートセンター
までご相談ください。TEL:0985-41-5901 FAX:0985-41-5902 Email: support@mif.or.jp
※日本語訳は後日、宮崎県国際交流協会のホームページに掲載されます。